

RCHR 第141回サロンde人権

話題提供:鄭 栄鎮

(大阪市立大学 都市研究プラザ特任講師)

在日朝鮮人アイデンティティの

変容と揺らぎ

在日朝鮮人運動の言説と「民族」をめぐる

無料

5月16日(水)

午後1:30~3:30

人権問題研究センター

共同研究室

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

1945年の日本の植民地支配からの解放以降、在日朝鮮人への差別撤廃、その社会的地位向上をめざしたさまざまな社会運動が展開された。それらの運動において、在日朝鮮人にとっての「祖国」や「民族」はどのように表象されてきたか。

また、在日朝鮮人は日本人とは異なる存在として、いかに表象され、それらのなにが変わり、なにが変わらなかったのか。

本年に出版された『在日朝鮮人アイデンティティの変容「民族」の想像/創造』の内容をもとにして、「主体」としての在日朝鮮人とその自己像（アイデンティティ）のありようの変化について考えていきたい。